

NISSAN GLOBAL FOUNDATION

公益財団法人 日産財団 2018年度 活動報告

VISION

人材育成を通じて、
豊かな未来社会の実現を目指します

MISSION

1. 未来を担う子どもたちの能力開発を支援します
2. 未来のための教育の進化と、教育者の成長に貢献します
3. グローバルに活躍するリーダーの育成に貢献します

MESSAGE



ご挨拶

私が理科に興味を持ったのは、小学4年の頃でした。
担任の先生は美術がご専門で、生徒にいろいろな機会を与えることを方針とされていました。
先生の勧めで、絵画教室に参加したり新聞委員を担当したりしたのですが長続きせず、
ただ一つ化学実験で先生の代理を任されたことは非常に強く心に残りました。
それをきっかけに理科に興味をもち、大学で工学を学び、
企業で研究開発の仕事を選択し、現在に至っています。
当時、様々な経験を通して自分の進む道を考えさせてくれた先生に、今でも深く感謝しています。
日産財団は、豊かな未来社会を切り開く人、生き生きと活躍する人を育てるために、
様々な経験と学びの場を通して子供たちの能力開発に取り組んでまいります。

公益財団法人 日産財団 理事長 久村 春芳

役員・評議員、選考委員名簿

役員

理事長	久村 春芳	日産自動車(株) フェロー
常務理事	原田 宏昭	公益財団法人日産財団 常務理事
理事	加納 圭	滋賀大学 准教授
	川越 至桜	東京大学生産技術研究所 准教授
	西本 清一	京都市産業技術研究所 理事長
	美馬 のゆり	公立はこだて未来大学 教授
	山崎 蘭加	華道家
監事	太田 建司	公認会計士
	佐藤 晃一	日産自動車(株)法務室 弁護士

評議員

「2019年7月現在」

評議員	井上 光昭	井上公認会計士事務所 代表
	加藤 毅	筑波大学 准教授
	黒田 玲子	中部大学総合工学研究所 特任教授
	塚本 恵	キャタピラー 代表執行役員 渉外・広報室長
	土井 三浩	日産自動車(株)総合研究所 アライアンスグローバルダイレクター
	羽鳥 賢一	一般社団法人大学技術移転協議会 事務局長
	濱口 貞行	日産自動車(株) チーフコミュニケーションオフィサー

選考委員

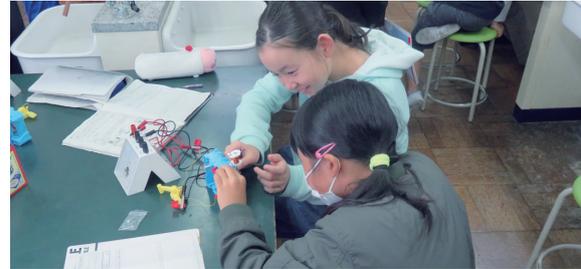
選考委員長	長谷部 伸治	京都大学国際高等教育院 特定教授
選考委員	小野瀬 倫也	国士館大学 教授
	加藤 圭司	横浜国立大学 教授
	加藤 毅	筑波大学 准教授
	千葉 養伍	福島大学 教授
	人見 久城	宇都宮大学 教授
	森 春仁	日産自動車(株)総合研究所研究企画部 部長
	森藤 義孝	福岡教育大学 教授

COMMITTEE



理科教育助成

子どもたちの科学的思考力を高める教育実践や、
 教師の指導力を高める授業研究に助成します。
 助成の対象は神奈川県、福岡県、栃木県、福島県の教育委員会から
 推薦を受けた各県の小学校、中学校、研究会等で、
 毎年35件に助成しています。
 助成期間は2年間、助成金は70万円です。
 助成を受けた学校・研究会等は
 実験機材やICT機器などを充実させるなど、
 様々な方法で理科教育の充実を図っています。



理科教育賞

理科教育助成において大きな成果をあげ、
 かつ、波及効果が期待できる実践を各県から1件選出。
 選出された学校・団体には、贈呈式で成果を発表していただき、
 最も優れた学校・団体には大賞を、他の学校・団体には理科教育賞を授与します。



第6回受賞

【2018年度】



大賞

福岡県北九州市立祝町小学校

「PDCAサイクルを基盤とした自律型ロボットプログラミング学習の試み」
 ～理科学習で養う問題解決能力との関連性を探る～



理科教育賞

福島県
浪江町立浪江中学校

「自ら学ぶアクティブ・ラーニングを導入し、理科好きな生徒を育てる授業のあり方」
 ～ICT機器を利用した学び合いを通して～



理科教育賞

栃木県宇都宮大学
教育学部附属小学校

「子ども主体で問題解決ができる理科授業」



理科教育賞

神奈川県
横浜市立井土ヶ谷小学校

「自然を読み解く力を育てる表現と学び合い」
 ～つながりの中で学びを深める子ども～



理科教育賞 ポスター セッション賞

神奈川県
横浜市立戸塚小学校

「iPadを活用した
理科教育の実践」





リカジョ賞

小中学校の女子児童・生徒の理系分野への
 興味・関心が深まったと評価できる取り組みを表彰します。
 生活科や理科などの授業、学習発表会や
 サイエンスショーなどのイベント、
 科学部などのクラブ活動、大学・研究機関の
 アウトリーチ活動などを対象としています。



第1回受賞

【2018年度】



グランプリ

一般社団法人横浜すばいす 古川 三千代 氏

STEM人材への近道、AIとITを身近に体験できる
 「課題解決型ロボットプログラミング教室」
 ロボットが活躍する
 未来型キャリアに命を吹き込むのは女子



福島県福島市立渡利中学校 菅野 俊幸 氏

震災からの復興と地元産の農作物の風評被害を
 中学生の女子力で克服する



第2回は、
 内閣府男女共同参画局の
 後援を頂いています。



準グランプリ

日本科学未来館 「つながり」プロジェクト

STEAM教育の実践
 ～Picture Happiness on Earth～



東京大学大学院修士課程 五十嵐 美樹 氏

初等教育段階における女子の理系学習促進のための
 科学コミュニケーション活動



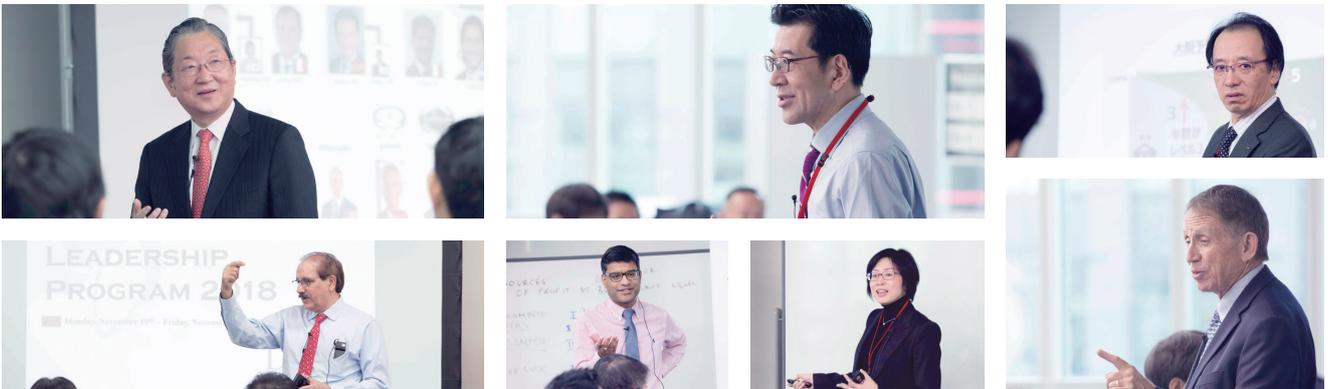


GLOBAL RESILIENT LEADERSHIP PROGRAM

逆風下の変革リーダーシップ養成講座

企業・組織の幹部候補を対象にレジリエント、つまり逆風下でも折れない強靱なリーダーシップを養うためのプログラムです。早稲田大学ビジネススクール、日産自動車、そしてエグゼクティブ教育に定評のある海外ビジネススクールとの連携により、理論と実践をブリッジしたリーダーシップ養成を行っています。

2014年度から現在まで、国内外から参加した受講者244名は、企業・組織の第一線で活躍しています。



2018年度は、11月19～21日の期間、米国ペンシルベニア大学ウォートン・スクールと早稲田大学ビジネススクールによる講座を開講しました。

通常の講義に加え、ビデオカンファレンスシステムを利用したウォートンからの遠隔講義や、日産財団理事長の志賀俊之をはじめ

日産自動車の改革を率いた役員たちによるエグゼクティブセッションも実施しました。

また、講座終了後も学びと交流を継続していただくために

英国オックスフォード大学サイドビジネススクールの講師を迎えての

アルムナイイベント（6月）や、各企業の人事担当者を招いての交流会（9月）を開催しました。





2019年度の新プログラム 未来のリーダー教室

Society5.0（超スマート社会）をリードする

人材づくりを目指した未来のリーダー教室を開始します。

この教室では、初等中等教育段階において

リーダー資質を萌芽・育成するワークショップを実施します。

2019年度は、中学生向けの教室と教員向けの講座の

2つのプログラムを行い、

創造性、課題発見・解決、リーダーシップ等を学ぶ場を提供します。

また、並行して未来のリーダーを育成する方法論について調査研究を行います。

この研究では、未来のリーダーを育成するために必要な

教育要素の特定、教授法の開発、教材開発などを行い、

順次本プログラムへ織り込んでいきます。



公益財団法人
日産財団
NISSAN GLOBAL FOUNDATION